

NEWS RELEASE

各位

2026年5月27日
株式会社IMAGICA EEX
代表取締役社長 CEO兼CCO 諸石 治之
問い合わせ press@eex.co.jp

IMAGICA EEX、バレエ「アレコ」全幕再演において 先端デジタル技術を用いた舞台演出に参画

～MoN Takanawaとの共創で、シャガールの巨大背景画をデジタル空間に再現～



巨大LEDスクリーンでの公演イメージ

株式会社IMAGICA EEX（本社：東京都港区 代表取締役社長 CEO兼CCO 諸石治之、以下「当社」）は、2026年5月29日（金）より「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」のシアター空間「Box1000」にて開催される、バレエ「アレコ」全幕再演において、映像演出および技術協力として参画することをお知らせいたします。

本公演では、マルク・シャガールが手掛けた1枚あたり横約15メートル、縦約9メートルに及ぶ全4点の巨大な舞台背景画を横21メートル、縦9メートルの常設LEDスクリーン上に高精細に再現し、先端デジタル技術と舞台芸術を融合させた新たな「アレコ」の上演に挑戦します。

■ 芸術作品の保護と舞台表現の拡張を両立する、歴史的絵画の舞台再構築

シャガールが「アレコ」のために描いた巨大背景画は、長年にわたり原画保護の観点から舞台での再使用が極めて困難とされてきました。しかし今回、高画質・高精細なデジタルアーカイブ技術を活用して背景画をデータ化することで、貴重な芸術作品を保護しながらも、現代の演出環境における舞台表現の拡張を見事に両立させました。シャガール本来の色彩と構図が、ダンサーたちの身体表現とデジタル空間上で鮮やかに交錯する、これまでにない幻想的なバレエ体験を実現しています。

■ 布製の背景幕（ドロップ）と巨大LEDの違いがもたらした「光を描く」新たな表現手法

従来のバレエにおける舞台美術では、布に描かれた巨大な背景幕（ドロップ）に対して物理的な舞台照明を当てることで、美術と舞台空間を一体化させていました。しかし、本公演の舞台となる「Box1000」に導入されている巨大LEDスクリーンは自ら発光する特性を持つため、物理的な幕のように画面に直接照明を当てて空間をなじませることができません。

この構造的な違いによる大きな課題に対し、当社は「光が当たっているように見える」緻密な照明効果のCG制作を行いました。実際に物理的な照明を当てるのではなく、高精細化された絵画データの色彩や質感を損なうことなく、光と陰影のコントラストを映像内で繊細に表現しています。これにより、単なる代替技術ではなく「光を投影する」から「映像で光を描く」という、実空間とLEDを違和感なく融合させる全く新しい切り口の舞台照明・演出表現を実現しました。

■ 「MoN Takanawa」のコンセプトだからこそ生まれた、次世代の文化への広がり

「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、アートやテクノロジーなどの領域を横断して、新しい物語と文化を創造し、「100年先へ文化をつなぐ」ことを使命とする複合型ミュージアムです。過去の古典芸術を単なる映像化で終わらせず、現代の技術で「再演」というMoN Takanawaの挑戦的なビジョンに深く賛同し、当社の技術をもって共に新たな表現の構築に取り組ませていただいたことで、今回の革新的なプロジェクトが実現しました。

今回開発された「実空間のパフォーマンスと巨大LED上の美術を高次元で調和させる演出手法」は、バレエというジャンルにとどまりません。歌舞伎などの伝統芸能をはじめ、オペラやミュージカルといった舞台演劇、さらには大規模なライブコンサートなど、これまで物理的な背景幕（ドロップ）が用いられてきたあらゆる表現領域へと応用できる高い発展性を秘めています。

当社は今後も、既存の概念にとらわれることなく、クリエイティブとテクノロジーを融合し、様々なエンタテインメント領域において新しい空間体験の創出と社会実装を目指してまいります。



【公演概要】

公演名：バレエ「アレコ」

日程：2026年5月29日（金）～6月7日（日）

会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000（東京都港区）

URL：<https://montakanawa.jp/programs/aleko/>



■ バレエ「アレコ」について

ロシアの文豪アレクサンドル・プーシキンの詩「ジプシー」（1827年）を原作とした物語です。音楽には、チャイコフスキーのピアノ三重奏曲 イ短調をオーケストラ用に編曲した楽曲が用いられ、背景画をマルク・シャガールが手がけました。全4点となる巨大背景画は現在、青森県立美術館アレコホールに展示されています。

■ MoN Takanawaについて

伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

名称であるThe Museum of Narrativesの頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問（問い）」の2つの意味が込められています。

URL : <https://montakanawa.jp/>

■ IMAGICA EEX（イマジカ イークス）について

プロトタイプ（開発）から社会実装（事業）まで、パートナーとともに伴走し、社会課題の解決と豊かな未来をデザインする、ニュー・エクスペリエンス・アーキテクチャーカンパニーです。

会社名：株式会社IMAGICA EEX

設立：2020年7月3日

所在地：〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号

代表者：代表取締役社長CEO兼CCO 諸石 治之

事業内容：エンタメテックビジネスの事業企画、戦略的投資、技術およびIP開発

公式サイトURL : <https://eex.co.jp/>

note : https://note.com/_eex

X : https://x.com/___EEX___



以上